

令和6年度 年間授業計画

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	VIVID English Communication Ⅰ（第一学習社）
	補助教材：	教科書準拠WORKBOOK（第一学習者）Data Base3300(桐原書店) Hyper Listening 4th edition(桐原書店)

教科（ 外国語 ）の目標

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目（ 英語コミュニケーションⅠ ）の目標

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを多くの支援を活用し的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話[や]	話[発]	書					
1 学 期	単元 #Share Your World	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	11
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができるようにする。	時制、日本語と英語の語順の違い						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	SNSに関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・自律的にSNSに関する題材内容を聞くことができるようにする。	単語調べ、SNSを調べる	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。									
	単元 I Was Drinking Chocolate	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	英語の特徴に注意して、英文を発音することができるようにする。	進行形、不定詞、動名詞、英語の音と特徴						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	チョコレートの歴史に関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	主体的・自律的にチョコレートの歴史に関する題材内容を聞くことができるようにする。	食べ物の歴史を考察する	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。									
	定期考査(中間考査)/返却と解説								○	○	○	2
単元 Inspiration on the Ice	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	11	
知識及び技能	指導事項						知識・技能					
英語の特徴に注意して、英文を発音することができるようにする。	現在完了、受け身、英語の音の特徴						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。					
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現					
羽生結弦選手に関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度					
主体的・自律的に羽生結弦選手に関する題材内容を聞くことができるようにする。	インタビューの英語を作成する	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。										
単元 Esports' Time Has Come	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10	
知識及び技能	指導事項						知識・技能					
指示語が指す内容に注意して、英文を理解することができるようにする。	比較、指示語が指す内容						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。					
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現					
Eスポーツに関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度					
主体的・自律的にEスポーツに関する題材内容を聞くことができるようにする。	eスポーツの歴史を研究する	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。										
定期考査(期末考査)/返却と解説								○	○	○	2	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
		聞	読	話[や]	話[発]	書					
単元 Mansai, Kyogen Performer	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	11
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
説明、描写、提案の表現を理解し、その内容を整理して伝えることができるようにする。	分詞、言語の働き						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
野村萬斎さんに関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度									
主体的・自律的に野村萬斎さんに関する題材内容を聞くことができるようにする。	日本の伝統芸能を研究する	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。									
単元 In this Corner of the World	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
相づち、聞き直しの表現を理解し、円滑にコミュニケーションをすることができるようにする。	現在完了進行形、関係詞						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
『この世界の片隅に』に関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度									
主体的・自律的に『この世界の片隅に』に関する題材内容を聞くことができるようにする。	クラウドファンディングについて	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。									
定期考査（中間考査）/返却と解説								○	○	○	2
単元 Should Stores Stay Open for 24 Hours?	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	11
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
質問、共感、驚きを表す表現を理解し、円滑にコミュニケーションをすることができるようにする。	助動詞+受け身、関係代名詞what、過去完了形						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
24時間営業店舗に関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度									
主体的・自律的に24時間営業店舗に関する題材内容を聞くことができるようにする。	コンビニ事情について調べる	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。									
単元 Our Future with Artificial Intelligence	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
知識及び技能	指導事項						知識・技能				
つなぎ言葉を理解し、英文をまとめて理解できるようにする。	分詞構文、関係副詞						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。				
思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
AIに関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度									
主体的・自律的にAIに関する題材内容を聞くことができるようにする。	AIとは何かを調べる	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。									
定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○	○	2

令和6年度 年間授業計画 科目（英語コミュニケーションⅠ）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話[や]	話[発]	書					
3 学 期	単元 Stop Microplastic Pollution!	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	11
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	文章の段落の構造に注意して、英文を理解することができるようにする。	if節、仮定法過去						外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	海洋プラスチック汚染に関する題材内容を聞いて、その概要を捉えられるようにする。	教科書等、プリント						コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、伝え合ったりする力を身に付けている。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
主体的・自律的に海洋プラスチック汚染に関する題材内容を聞くことができるようにする。	マイクロプラスチックの公害事情について調べる	外国語の背景にある文化に対する理解を深めて、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。										
	定期考査（期末考査）/返却と解説							○	○	○	2	
											合計	
											105	